

地区歯科医師会各種講演会のご案内 (地区記入、閲覧兼用)

1. 主催歯科医師会名：公益・一般社団法人目黒区歯科医師会

TEL：03-3719-8201

FAX：03-3719-8270

2. 講演会・講習会の名称：

平成28年度第1回学術講演会

3. 日時：平成28年6月22日 開演、開始時間：19:30～21:00

4. 場所：〒152-0001 所在地:東京都目黒区中央町2-13-11

5. 講演会・講習会の内容：

歯周病患者の口腔機能回復治療 =顎関節円板転位と咬合性外傷

講師 内田 剛也先生 川崎市開業

6. 参加対象者：該当のすべてに○印

本会会員、他地区会員、都歯準会員、一般歯科医師

7. 参加費用：有料

目黒区歯科医師会会員及び東京都歯科医師会準会員は無料

8. 有料の場合の金額

本会会員 (無料)

他地区会員 (1000円)

都歯準会員 (無料)

一般歯科医師 (5000円)

9. 人数制限

本会会員は制限なし

他地区会員、都歯準会員、一般歯科医師は合わせて定員20名

10. 申し込み方法

申し込み方法 締め切りは6月15日です。定員超過の場合はFaxにて返信いたしますのでFax番号を併記下さい。会員の先生は所属歯科医師会名もお書き下さい。

本会会員 (申込不要)

他地区会員 (FAX)

都歯準会員 (FAX)

一般歯科医師 (FAX)

TEL： _____

FAX：03-3719-8270

メール： _____

HP：http://www.meguro-dental.or.jp

川崎市開業 内田 剛也

「歯周病患者の口腔機能回復治療とは、歯周病によって失われた口腔機能を回復するため歯周外科治療後に行う治療の総称であり、咬合治療、修復・補綴治療、歯周補綴、歯周一矯正、インプラント治療が含まれる。」と歯周病学用語集に記載されています。

中等度以上に進行した歯周炎では歯周組織の支持能力が低下するため、2次性咬合性外傷を生じます。このため、外傷性咬合のコントロールは、プラークコントロールと同様に重要となります。

咬合性外傷のコントロールは、力を受け止める側の支持力の向上を目的として、広範囲な連結固定や、残存歯の保護の目的から可撤性部分床義歯やインプラント補綴による欠損補綴が行われて来ました。また最近では、加わる外傷的な咬合力のコントロールすること目的とした行動療法なども行われるようになりました。片側の顎関節円板転位側と習慣性咀嚼側は一致性があるという報告もあります。習慣性咀嚼側では外傷的な咬合力により、度重なる補綴装置の破損や脱離、進行した歯槽骨吸収や歯の病的移動を認める症例を経験してきました。

長期的に歯周組織を安定させ、機能を維持するためには、歯周組織に炎症や咬合性外傷を誘発しないように配慮することが重要であり、顎位の是正を目的とする顎関節治療や歯列保全を目的とする口腔機能回復治療、その後のメンテナンスやSPTをイメージした治療計画の立案が求められることとなります。

本講演では、歯周外科（組織再生療法を含む）と矯正治療を活用した右側にクリックを伴う局所重度歯周炎症例をとらして、歯周組織の回復を妨げる因子としての咬合性外傷について、またSPT開始14年が経過した初診時に左側にクリックが存在した中等度歯周炎症例で経験した咬合性外傷によるトラブルについて報告し、歯周病患者の口腔機能治療について皆さんと一緒に考えたいと思います。

【講師略歴】

- 1986年 日本大学歯学部卒業
- 1990年 神奈川県川崎市にて開業
- 1994年 日本歯周病学会 歯周病専門医取得(337号)
- 2002年 日本顎咬合学会 咬み合わせ指導医取得(742号)
- 2005年 日本歯周病学会 指導医取得(154号)
- 2006年 日本補綴歯科学会 専門医取得(1861号)
- 2011年～2015年日本歯周病学会 専門医委員会 委員
- 2013年 鶴見大学歯学部歯周病学講座 非常勤講師
- 2013年 日本歯周病学会 評議員
- 2014年 日本歯科大学新潟生命歯学部 非常勤講師
- 2015年 日本歯周病学会 インプラント委員会 委員
- 2015年 鶴見大学歯学部歯周病学講座 臨床教授